

## 「基本情報シートの書き方」相談援助面接研修（中級編）

受講を申し込む際に、「受講申込書」と共に「基本情報シート」を提出していただきます。

- ◎「基本情報シート」の記載にあたっては、以下の要領で簡略にまとめてください。
- ◎事例提出のために、改めて情報収集をしていただく必要はありません。
- ◎現時点で、知っている（いた）範囲で「基本情報シート」をまとめてください。
- ◎テーマ（表題）を必ずつけてください。

### < 注意 >

- ◎ 事例をまとめる際は、本人もしくは家族から了解を取ってください。
- ◎ また、固有名詞など、本人が特定される名称は絶対書かないこと。氏名は勿論のこと、病院名、地名も書かないこと。これらは発表の時も、厳守してください。

## I. 基本情報シート

テーマ：『ここ最近（過去6ヶ月以内を目安に）、ご自身が担当したケースで、印象に残っている事例』

例 うまくいったケース、困難だったケースなど

※枠内に知っている内容を漏れなく、簡潔に記入ください。

### ①表題（テーマ）またタイトルをつける

このケースを他者に伝える際に、概要がわかるような要約的なテーマをつけてください。

例 「独居認知症高齢者との関わりの難しさ」、「本人と家族の意向の違いに悩む」等。

### ②提出意図

何故このケースを選んだのか。このケースに着目したところはどんな点ですか。

また、このケースに対し自分はどうか考えたか（考えているか）など、記入してください。

### ③ケースの氏名（略名）・年齢・性別・既往歴・現病歴・介護認定などを簡潔に記入してください。

### ④このケースと関わった最初の紹介者とその時の主訴を簡潔に記入してください。

### ⑤初回面接時の本人の主訴や要望、ご家族の主訴や要望を簡潔にまとめてください。

### ⑥知っている範囲での生活歴・職歴・既往歴（家族構成含む）

大まかで構いません。どこで生まれ、どんな家族歴（結婚・子供・転居など）があつて、どんな職業に  
ついたか、また本人のイメージがつかめるように書いてください。

家族図については、以下の「家族関係等作成時の記号等一覧表」に基づき記載してください。

#### 【家族関係等作成時の記号等一覧表】

＼ …… 別居	＼＼ …… 離婚	× …… 死亡	: …… 養子
□ …… 男性	○ …… 女性	（ □ や ○ の中に年齢を書く ）	
— …… 太線で関係を示せば関係が強い			
← …… 矢印はエネルギーが流れる（向かう）方向			
← に     （重ねて書く）または ← に ~ （重ねて書く）は、ストレスや葛藤を示す			
←…… は希薄な関係を示す			
[家族構成図] 子ども等を記載する場合は「左側」から書いていく。性別、年齢を記入すること。			

### ⑦援助経過

これまでの援助経過を簡潔に書いてください。

### ⑧この事例の残された課題、検討してほしいこと。またこの事例からの学び、ケースへの向き合い方への反省また教訓、そして今後の自分への決意など書いてください。

### ⑨自己紹介（受講者自身）

出生地、職歴、趣味、現在の職場での位置（地位）や自己職業に関する感想など自由に書いてください。  
（自己アピールです。伝えたいことを要約して書いてください）

# 基本情報シート

所属名 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

受付	年 月	テーマ				
② 提出 意図						①
④ 紹介者		紹介時 主 訴				
③ 氏 名	様	性別	男・女	生年月日	明・大・昭・平	年生まれ( 歳)
⑤ 本 人 家族の 主 訴 要 望	〈本人の主訴・要望〉					
	〈家族の主訴・要望〉					
⑥ 生活歴 ・ 職 歴 ・ 既往歴					〈家族構成〉	
介 護 認 定	初回認定	年 月 日	障害の日常生活自立度 < >			
	現介護度	要支援・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ	認知症日常生活自立度 < >			
被保険 者情報	・医療保険: 健保・国保・老人 ・身障手帳: 種 級( ) ・収入状況: 自営・給与・年金、月額約 万円。					
⑦ 援助の 経 過						
⑧ 検討 事項 及び 考察						
⑨ 自 己 紹 介						